

安全運転

ほっと NEWS
2023年8月号

今月のクイズ

2017年3月末の黒ナンバー（貨物軽自動車運送事業）の車両数は、262,792両でした。5年後の2022年3月末の車両数を次の中から選んでください。

- ①274,874両
- ②304,874両
- ③334,874両

（答えは裏面）



TOKIO MARINE NICHIDO

黒ナンバードライバーの安全運転

ショッピングサイトやフリマアプリなどの普及により、近年、宅配便の需要が高まっています。この物流を支える事業の一つに、黒ナンバーをつけた軽自動車での配送（貨物軽自動車運送事業）があります。軽トラックやバンタイプの4ナンバーの軽商用車、あるいは、125CC以上のバイクの利用に限られていた貨物軽自動車運送事業は、2022年10月から5ナンバーの軽乗用車も使用できるようになり、小回りに優れる黒ナンバー車両に対する需要が、今後さらに増えるかもしれません。

今月は、黒ナンバー車両を運転するときが多い事故を理解し、安全に配送するためにはどうしたらよいかをみてみましょう。



黒ナンバードライバーに多い事故とは？



2022年中に起きた運送事業用車両における自動車事故のうち黒ナンバー車両での事故は5,049件発生しており、全体の約22%を占めています。

どのような事故が起きているのか事故類型別の割合をみると、車両対車両の事故が最も多く、追突事故が約31%の割合となっています（図1）。また、緑ナンバー（一般貨物自動車運送事業）の車両による事故と比較すると、出会い頭での事故の割合が約2倍と高くなっています。事故時の運転行動をみると、直進時に一定の速度で走行しているときが最も高く、発進、右折と続きます。いずれも緑ナンバー車両での事故よりも割合が高くなっています（図2）。

道路形状別に発生した事故の割合をみると、交差点での事故が約45%と最も高く、信号のない交差点では緑ナンバーの約2倍近くの割合となっています（図3）。また、直線道路（カーブや橋などを除いた単路）も約37%と高い割合を占めています。法令違反別の割合をみると、安全不確認の割合が最も高く、脇見が続きます（図4）。交差点安全進行義務違反は黒ナンバーの約1.6倍の割合と高くなっています。

交差点を安全な速度で進行していなかったり、安全確認を怠ったりすれば、他車との出会い頭での事故や、右折時に対向車や横断歩道上の歩行者との衝突事故を起こす可能性が高くなります。また、走行中に携帯電話や伝票、荷物などが気になり、目をうつした一瞬に交通状況が変わり事故を起こす可能性もあります。他にも、駐車や発進を繰り返して次の配達先に向かう際に、時間を気にして焦っていると安全確認が不十分になり、追突事故や歩行者との接触事故を起こす危険性があります。

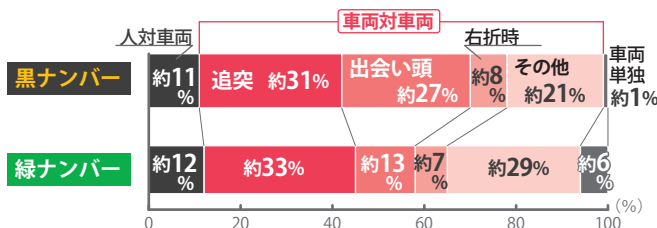


図1：黒ナンバーと緑ナンバーの事故類型別事故割合の比較（2022年中）

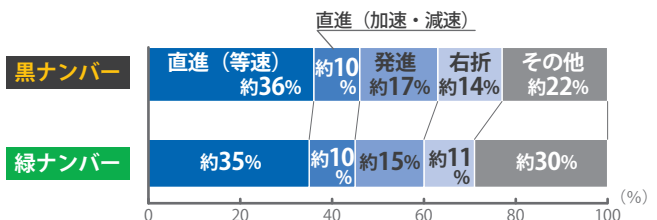


図2：黒ナンバーと緑ナンバーの運転行動類型別事故割合の比較（2022年中）

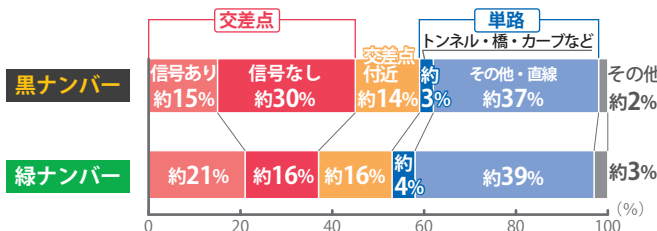


図3：黒ナンバーと緑ナンバーの道路形状別事故割合の比較（2022年中）

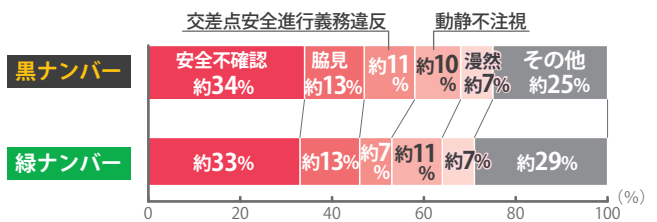


図4：黒ナンバーと緑ナンバーの法令違反別事故割合の比較（2022年中）

※構成比は小数点第1位を四捨五入して表示しているため、合計が100%にならない場合があります。

出典：公益財団法人交通事故総合分析センター 令和4年中 図1：事故類型別（詳細）・当事者別（用途・形状）全事故件数（第1当事者）／図2：当事者別（用途・形状）・行動類型別 全事故件数（第1当事者）／図3：地形別 当事者別（用途・形状）全事故件数（第1当事者）／図4：当事者別（用途・形状）・法令違反別 全事故件数（第1当事者）



黒ナンバードライバーの安全運転



黒ナンバードライバーの安全運転には何が必要かをみてみましょう。

出発する前に、体調のチェックと車の日常点検を行いましょ

アルコールチェッカーを使い体内にアルコールが残っていないかチェックを行いましょ。(道路交通法第65条)
持病の状態や疲労などが残っていないか、体調のチェックをしましょ。(道路交通法第66条)
ブレーキ液やエンジンの状態などボンネットの中、灯火類やタイヤの空気圧など車の周囲、ブレーキペダルやアクセルペダルの動作確認などの日常点検を行いましょ(道路運送車両法 第47条の2第1項)。

アルコールの
チェックを行う

体調のチェック
をする

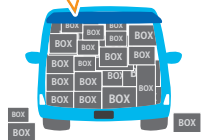
車の日常点検
を行う



過積載にならないように、規定された積載量を守りましょ

規定された積載量を超えて荷物を積み込むとタイヤに負担がかかり、停止時に止まりきれなかったり、発進時にアクセルを普段より強く踏み込んだりしてしまい、車や歩行者と衝突しかねません。さらに、右左折時やカーブでは大きく回りこんで曲がり切れなかったり、ふらついたりする危険性があります。過積載にならないように、規定された積載量を守って、配送しましょ(道路交通法第57条)。

過積載にならないように、
積載量を守る



荷物は偏らず荷崩れしないよう、視界の確保にも気を配りながら積みましょ

荷物の偏りや走行中に荷崩れが起きると、ハンドル操作に影響を及ぼしたり、注意が荷物に向いてしまい運転がおろそかになる可能性があります。また、荷物を高く積み左右や後方が見えにくい状態だと、十分な安全確認ができません。荷物を積みときは、偏らず荷崩れしないように、また、左右や後方の視界の確保にも気を配りながら積みましょ。

荷物は偏らず荷崩れしないよう、
視界を塞がないように積む



無理のない配送ルートを作成し、時間と運転にゆとりをもたせましょ

「次の配達先に遅れる」という急ぎや焦りは、十分な安全確認ができなくなる以外にも、速度超過や、車間距離が短くなるなど、危険な運転行動の原因となります。無理のない配送ルートを作成し、時間と運転にゆとりをもたせましょ。

無理のない配送ルートを作成し、
時間と運転にゆとりをもたせる



乗務時間を定め、十分な休憩をとりましょ

忙しくて疲れていると、ボーッとしたり漫然運転(漫然運転)になり追突事故などを起こす危険性があります。また、疲れが蓄積すると、居眠り運転を起こしかねません。乗務時間を定め、十分な休憩をとりましょ。

乗務時間を定め、十分な休憩を
とる



信号のない交差点では「車や歩行者が出てくるかもしれない」と考え、一時停止して安全確認をしましょ

信号のない交差点や見通しの悪い交差点で、先を急ぐあまり「いつも車が通らないし大丈夫」と通過しようとするれば、出会い頭の事故を起こす危険性が高まります。「車や歩行者が出てくるかもしれない」と考え、交差点や一時停止の標識の直前で一時停止し、見通しが悪い場合には少し進んでからもう一度停止して(二段階停止)、安全確認を十分に行ってからゆっくりと進みましょ(道路交通法第43条)。車両や歩行者が交差点に進入しようとしていた場合は、通過するのを待ってから進みましょ。



信号のない交差点や、見通しが
悪い交差点では、一時停止し、
安全確認を行う

- 出発する前に、体調のチェックと車の日常点検を行いましょ
- 過積載にならないように、規定された積載量を守りましょ
- 荷物は偏らず荷崩れしないよう、視界の確保にも気を配りながら積みましょ
- 無理のない配送ルートを作成し、時間と運転にゆとりをもたせましょ
- 乗務時間を定め、十分な休憩をとりましょ
- 信号のない交差点では、「車や歩行者が出てくるかもしれない」と考え、一時停止して安全確認をしましょ

今月のクイズの答え

③334,874両(約1.3倍増) 出典:国土交通省自動車局貨物課「貨物自動車運送事業 車両数(運輸支局別)」より

ご用命・ご相談は...



東京海上日動

URL www.tokiomarine-nichido.co.jp

担当営業課